



2020~2021 年度 RI 会長 ホルガー・クナーク
(Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータリークラブ<独国>)

RI 第 2730 地区ガバナー 風呂井敬 (鹿屋西 RC)
鹿児島県市内ガバナー補佐 B グループ野井倉洋豪 (鹿児島東南 RC)
A グループ上川映男 (鹿児島南 RC)

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 飯野 和男 幹事 東 則秋 副会長 居川 亮
(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020
(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622
E-Mail info@tounanrc.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2461 回 No.16
2020 年 12 月 1 日 (火)
本日のプログラム クラブ総会

12 月 誕生日おめでとうございます。
大石裕一郎君 (4 日)

12 月 結婚記念日おめでとうございます。
若松利秋君 (6 日)

11 月 24 日第 2460 回

会長挨拶

会長 飯野 和男

朝晩めっきり冬らしくなってきました。コロナのニュースで1日が明け暮れています。鹿児島でも600人を超え、昨日も5名の感染者がでました。九州でも3番目です。マスク、手洗い、うがいを励行し自分を守り、他人を守っていきたいと思います。

本日はロータリー財団フォーラムで野井倉先生に担当して頂きます。地区補助金事業も来年度企画されますのでよろしくお願い致します。

他クラブではオンライン例会やDVD配信による資料配布等、いろいろ工夫されているようですが、当クラブは少人数クラブですので皆様で顔を合わせながらの例会を続けています。それでよろしいでしょうか。参加者は例会の情報や近況を得やすいと思います。

以前居たクラブではネクタイ着用が義務でしたが、当クラブでは厳しく言われませんので軽装で出席でき楽しく過ごしています。

明日開かれる第49回ロータリー研究会もZoomで860名の参加で昼夜2回に分けて野井倉先生と参加します。



ゲスト・ビジター紹介

今回はいらっしゃいません。

会務報告

●本日のプログラム、ロータリー財団フォーラムの資料を配布しております。

●GoToEat のをサンロイヤルにて会員分購入致します。サービス分の 2500 円はスマイルとなります。

出席報告

会員数	22 名	前々回出席者	6 名
出席免除	1 名	メイクアップ	9 名
出席会員	14 名	出席訂正率	75%
出席率	66.7%		

スマイル報告

☆飯野和男君ー第 49 回ロータリー研究会の Zoom 会議が 1:00~8:00 迄あります。ご報告は来週いたします。

☆野井倉洋豪君ーロータリー財団発足時、\$27.5 寄付されました。それにちなんでわたくしも本日スマイルします。

☆實來春巳君ーアメリカ・ネーマンス RC 妙田俊夫さんからメールで『東南 RC の皆さんによろしく!!新型コロナウイルスのため外出できず困っている』とのことでした。※時期大統領バイデン氏は当地の出身とのことでした。

本日計 7,860 円 累計 円

RA スマイル報告

今回はございません。

本日計 0 円 累計 5000 円

本日のプログラム

ロータリー財団フォーラム

野井倉ロータリー財団委員長

ロータリー財団部門について

リーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を維持することである。

ロータリー財団 (TRF) の組織と使命

1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国

際大会に於いて、アーチ C.クランプが「全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でよりよきことをする為に基金をつくろう」と提案したことに始まり、1928 年国際大会でロータリー財団となづけられ、1931 年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となりました。

国際ロータリーと法的に組織は違いますが、その目的、使命、活動は両者共に一体のものです。

使命

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

標語

「世界で良いことをしよう」

優先事項

全てのプログラムと運営を簡素化すること。

プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものにする。

奉仕活動と資金調達は車の両輪

ガバナー月信11月号とロータリーの友11月号に詳しく記載がありますのでご確認ください。



理事会報告 2020年11月24日12時~

於:サンロイヤルホテル

出席者:飯野 上原 別府 末吉 田代 中馬 居川 (敬称略)

1 プログラムについて

12/1 クラブ総会

12/8 会長・幹事上半期を終えて

12/15 新入会員卓話 鳥丸会員

12/22 クリスマス家族夜間例会 理事会 18時~

12/29 第5週目のため休会

1/5 休会

1/12 1/15(金)新春合同例会

1/19 会長・幹事新年度挨拶

1/26 新入会員卓話 赤崎会員 理事会 12時～

・1月5日例会開催の有無 休会

・1月12日の例会は1月15日の新春合同例会に振替になります。

2、次年度幹事選出 瀬戸口会員を推薦

3、若松会員より GoToEat チケット購入について提案がありました。一人1口購入し、クリスマス例会の会費として使用。サービスの2500円はスマイルし、残りの差額は返金。→承認。会員全員購入し、クリスマス家族例会に参加されない方は2500円分スマイルし残りを返金します。

国際ロータリーホームページより

世界ポリオデー:大きな達成に焦点

ロータリーによる2020年世界ポリオデー(10月24日)の特別オンラインプログラムは、アフリカ地域における野生型ポリオ根絶の認定という歴史的達成事項にスポットライトを当てます。

パラリンピック選手で、今年のプログラムの共同ホストとなるアデ・アデピタン氏にとって、この快挙は特別な意味をもちます。幼少期にポリオにかかったアデピタン氏は、「私はナイジェリア生まれなので、この達成を心から嬉しく思う」と述べ、小さいときからこの日を待ち望んでいたと述べました。

10年前、全世界における野生型ポリオウイルスによる発症のうち、4分の3はアフリカで起きていました。現在、10億人以上が暮らすアフリカはポリオフリーとなっています。しかしアデピタン氏は、「根絶活動はまだ終わっていない」と警鐘を発し、全世界でのポリオ根絶という大きな目標の達成に精力的に取り組むことを訴えています。

同じく共同ホストを担うギータ・マネク氏(ロータリー財団管理委員)は、世界ポリオデーがロータリアンの意欲を高める特別な機会だと述べ、ポリオに終止符を打つために、ひたむきに根絶活動に取り組むロータリアンが世界中にいることを指摘しました。

ポリオ根絶はまさに共同の取り組みです。この達成は私たち全員のものです。

ー ツンジ・フンシヨナイジェリアのポリオプラス委員長

共同の取り組み

ナイジェリアのポリオプラス委員長であるロータリアン、ツンジ・フンシヨ氏(Lekki Phase 1 ロータリークラブ会員)は、この快挙がアフリカの会員とリーダー、そして世界中の支援者によって成されたものであることを述べました。先日、『TIME』誌の2020年「世界で最も影響力がある100人」に選ばれたフンシヨ氏は、認識向上と資金調達のために無数のロータリアンがイベントを催し、政府への働きかけを行っていることを指摘します。「ポリオ根絶はまさに共同の取り組みです。この達成は私たち全員のものです」

ロータリーとその会員は、アフリカ地域でのポリオ根絶活動におよそ8億9000万ドルの寄付を行ってきました。これらの資金はポリオプラス補助金となり、サーベイランス、輸送、認識向上キャンペーン、NID(全国予防接種活動)に活用されます。

今年の世界ポリオデーの特別オンラインプログラムは、フェイスブックにて複数言語で配信され、日本では10月24日午前8時からの配信となる予定です。ビル&メリンダ・ゲイツ財団がスポンサーとなるこのプログラムでは、『TIME』誌の編集者であるジェフリー・クルーガー氏、TVニュースのホスト役でロータリアンのマーク・ライト氏(米国、Seattle ロータリークラブ会員)、グラミー賞受賞歌手のアンジェリーク・キジョー氏が出演します。

2020年の課題

2020年は、100万人以上の命を奪い、世界経済を震撼させているコロナウイルスへの言及なしに語るできません。

グローバルアップデートでは、世界保健の専門家が、ロータリーと世界ポリオ根絶推進計画(GPEI)の主要パートナーが今日までに築いてきたポリオ根絶活動のインフラが、コロナウイルスの世界的流行に対する対応においてどのように役立てられているかについて話します。

WHO 事務局長付シニアアドバイザーであるブルース・アイルワード氏は、次のように述べます。「ポリオ根絶活動を通じて構築したインフラは、地域社会の関与と連携の方法、地域社会が実際に保健介入を行うための指

導方法、疾病サーベイランスの方法など、ほかの多くの疾病に取り組む上で非常に重要な役割を果たしてきました」

グローバルアップデートのパネリストには、クリストファー・エリアス氏(ビル&メリンダ・ゲイツ財団グローバル開発部門長)、ヘンリエッタ H. フォア氏(UNICEF 事務局長)、レベッカ・マーティン氏(米国疾病対策センター、グローバルヘルスセンターディレクター)も含まれます。

エリアス氏は、世界にはほかにも伝染性の疾病が緊急的に流行しているものの、ロータリアンが常に支援してくれると話します。「ロータリアンは、ポリオキャンペーンで村の子どもたちに行った支援から学んだことを生かして、黄熱病やはしかのワクチンを子どもたちに届けています」

グローバルアップデートでは、ポリオ根絶のインフラに基づくパンデミックへの対応戦略についても紹介しています。エチオピアのポリオサーベイランスチームがコロナウイルスの症例を報告しているほか、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンでは、通常ポリオ対策に使用されている緊急活動センターがコロナウイルス対応に活用されています。

また、ナイジェリア・ボルノ州での予防接種活動で奮闘しているボランティアの保健ワーカーや、子どもたちをポリオから守るためにアフガニスタンで地域動員に尽力する人たちの様子を紹介するビデオも配信されます。クルーガー氏は、ロータリー会員3名を含む「ポリオのパイオニア」として幼少期の経験について話します。これらのパイオニアは、1950年代にジョナス・ソーク博士が開発したポリオワクチンの大規模試験に参加した、100万人以上の子どもたちの中に含まれます。



世界ポリオデーの特別オンラインプログラムで共同ホスト役を担うギータ・マネク・ロータリー財団管理委員(左)と、マリー・アイリーン・リッチモンド・アフア氏(コートジボワールの元ポリオプラス委員長)も、グローバルアップデート

ートに参加しています。

今後のポリオとの闘い

ロータリーにおける目下の課題は、現在もポリオの発症が続いている2カ国(アフガニスタンとパキスタン)で、野生型ポリオウイルスを根絶することです。また、アフリカでは、ウイルスの再感染を防ぐために、定期予防接種を強化する必要があります。

ポリオを根絶するには、ポリオの常在国やハイリスク国で、毎年複数回の質の高い予防接種キャンペーンを実施しなければなりません。コロナウイルスの世界的流行の間は、医療従事者をコロナウイルスから守りつつ、ポリオに対する人びとの免疫力維持と、ポリオ感染の予防に努める必要があります。

ロータリーは、1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、21億ドル以上をポリオ根絶活動に投じてきました。現在、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とのパートナーシップ(ロータリーからの寄付に対し、ゲイツ財団が2倍額を上乗せ)により、毎年1億5000万ドルが、ポリオ根絶という子どもたちとの約束を果たすために活用されます。

★記帳メーキャップ受付(11:30~12:30)。			
12/8 クラブ総会		12/15 会長・幹事 上半期を終えて	12/22 新入会員卓話 鳥丸会員
月/日	クラブ	例会場	プログラム
12/2 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	年次総会
	鹿児島西	山形屋	ゲスト卓話 井上謙二様
	鹿児島西南	ゆうづき	クラブ協議会
12/3 (木)	鹿児島東	サンデイズイン	忘年家族例会
	鹿児島北	インプラントホテル	年次総会
	鹿児島 SW	鹿児島東急 REI	会員卓話
12/4 (金)	鹿児島	山形屋	ゲスト卓話 徳重浩一
	鹿児島大学 アカデミー	鹿児島大学	会員卓話
12/7 (月)	鹿児島中央	山形屋	職業奉仕フォーラム
	鹿児島 令和	鹿児島東急 REI	休会
12/8 (火)	鹿児島城西	鹿児島東急 REI	休会